



平和と公正をすべての人に

ゴール16は、世界の平和と公正を実現することを目標としています。“平和”という、その逆の紛争やテロなど日本とは遠いイメージを持つ方も多いと思いますが、ゴール16には、暴力や差別の根絶、公正な裁判、政治参加なども含まれています。

特殊詐欺に遭わないための対策をしよう

特殊詐欺の
手口を
知ることも
大切です。



特殊詐欺とは、電話をかけるなどして対面することなく相手を信用させ、お金やキャッシュカードをだまし取る犯罪のことです。例えば、親族などを装って電話をかけ、事件・事故などを理由に金銭等をだまし取る「オレオレ詐欺」、役所を装って「還付金がある」と電話をかけ、ATMから振込をさせてお金をだまし取る「還付金詐欺」などがあります。

被害は大都市圏に集中しており、愛知県では2021年に874件発生しました。被害者の9割は高齢者で、特に高齢女性が多くなっています。被害に遭わないためには、不審な電話に出ないための対策をする、電話でお金の話が出たら誰かに相談する、定期的に家族と連絡を取り合うなどが大切です。

不審な電話に
出ないための対策

- 「非通知」の電話に回答しない
- 防犯機能付き電話機を活用
- 常時留守番電話に設定し、内容が確認できるまで電話に出ない

などがあります！



選挙に行こう

投票は少しの
時間で政治に
参加できます！



私たちの生活には、交通、教育、物価など様々な問題が密接に関連していて、これらの問題の解決に政治が直結しています。平和で公正な社会の実現には、少数の人に権力が集中しないよう、多くの人々が政治に参加することが重要です。しかし、日本では投票率が低く、特に若年層の投票率が低いことが課題です。

私たちの生活をより良くするには、一人ひとりが積極的に政治に関心をもって関わっていくことが大切です。まずは、選挙の際は投票に行って、自分の意見を政治に届けましょう。



その他の取組

- 近所の人に積極的に声がけをしよう
- 児童虐待の疑いに気づいたら通報しよう
- 子どもたちとあいさつを交わし、困っている保護者に声をかけよう
- 安全なまちづくり活動に参加しよう
- ハラスメントをなくそう

深田防犯クラブ会長 渡邊 信廣さん

老人会のメンバーを中心に防犯クラブを立ち上げ、自主・自立・自助で住民のために活動しています。月3回、防犯パトロールを行い、空き家の異変や不審者がいないかを確認しているほか、住民と一緒に防犯活動も行っています。住民に「不審者警戒中」の表示板を配付し、自転車の前かごにつけてもらい、住民が買い物などで区内を走るだけで犯罪抑止になるといった取組を行っています。また、住民によるあいさつや声かけも犯罪抑止になることから、住民へのあいさつ等の呼びかけも行っています。どちらも誰にでもできる防犯活動です。今後も仲間を増やし、住民とともに、安全・安心なまちづくりを進めたいと思っています。

